

今後に向けて

今回の全国学力・学習状況調査で、新温泉町の児童生徒の良かった点や改善すべき点が明らかになりました。

第2期新温泉町教育振興基本計画策定2年目を迎え、一人一人の学力の向上と豊かな心を持った児童生徒の育成に向けて、今後さらに学校園・家庭・地域が連携して、課題の克服に向けた取り組みを進めていきます。

【 教育委員会・学校では 】

心が通い合い、認め合い、支え合う学級経営を基盤に、児童生徒に確かな学力を身に付けさせます。そこで、基礎的・基本的な知識・技能と、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばし、主体的に学習に取り組む実践的態度を育てます。

具体的な取組

- 児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりを一層目指し、自分の学びを振り返る時間を充実させるなど、学びの質を高める指導方法の工夫・改善を進めます。
- 幼小中一貫した「ことばの力（言語に関する能力）」育成プログラムを実践し、授業では話す・書く活動を有効に取り入れるなど、系統的な言語活動の充実を図ります。
- 今後も、「がんばりタイム（補充学習）」を設定し、基礎・基本の確実な定着を図ります。
- スクールアシスタントの活用により、個に応じた指導の充実を図ります。
- 対話を重視した授業を目指し、「特別の教科 道徳」の充実を図ります。
- 「新温泉町いじめ防止基本方針」をもとにした、いじめをしない、させない、許さない児童生徒の育成を図ります。

【 家庭・地域では 】

家庭は、子どもに精一杯の愛情を注ぐ心のよりどころであるとともに、家族とのふれあいを通して、社会を生きていくための前提となる基本的な生活習慣等を身に付ける上で最も重要な役割を担うなど、すべての教育の出発点です。

地域は、異なる年代の人々とのふれあい、豊かな自然とのふれあいなどを通して、健全な社会性の育成や郷土を愛する心を育む場として、最も大切な役割を担っています。

学校・家庭・地域は、それぞれが子どもたちの成長にかかわる当事者として、責任と役割を果たし、互いに連携・協力して、子どもたちの教育に取り組みましょう。

児童生徒が、家庭や地域においてさまざまな体験を通して、達成感や自己有用感を実感しながら、たくましく育ってくれることを願っています。

具体的な取組

- 学校園と協力して、「家庭生活の六つのやくそく」、「家庭学習の六つのやくそく」を継続するとともに、「家庭生活の手引き」、「家庭学習の手引き」を活用し、園児、児童生徒のより一層の生活習慣、学習習慣の向上を図りましょう。
- 園児、児童生徒のふるさと意識の醸成を目指し、地域の人々との交流や伝統文化にふれる体験の更なる充実を図りましょう。
- 人とのふれあいや対話を通して、園児、児童生徒の善悪の判断、規範意識の醸成を図りましょう。
- 児童生徒が言語に関心を持ち、ものの見方、感じ方、考え方を広げ深めるため、家庭での読書習慣を身に付けさせましょう。
- 児童生徒のネット依存やネットトラブルを防止するため、利用時間等を家族で相談するなど、ルールづくりをしましょう。